

# 令和4年度学校運営連絡協議会実施報告

東京都立竹早高等学校

## 1 組織

- (1) 東京都立竹早高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長、教務部主任（事務局長）、経営企画室主事 計3名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導部主任、進路・探究部主任 計6名
- (4) 協議委員の構成  
保護者代表1名、同窓会代表1名、近隣中学校長2名、近隣専門学校長1名、大学教員1名、  
地域公共機関代表2名、 計8名

## 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年7月 新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催とした。  
内部委員6名、協議委員8名、協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、  
前年度学校運営連絡協議会実施報告、学校経営報告・計画、本校の現状と課題等  
いじめ防止(学校サポートチーム)、各種報告書を送付した。
  - 第2回 令和4年12月13日(火) 16:00～17:00 校長室  
内部委員6名、協議委員8名  
学校近況報告、学校評価アンケート項目の検討、本校の現状と課題等、  
いじめ防止(学校サポートチーム)、意見交換・協議、
  - 第3回 令和5年3月 新型コロナウイルス罹患による追試験実施のため、書面開催とした。  
最終報告を送付し、評価委員及び協議委員より意見をいただいた。
- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和4年8月 内部委員1名、評価委員1名  
新型コロナウイルス感染症対策のため中止
  - 第2回 令和4年12月13日(火) 15:00～16:00  
内部委員2名、評価委員1名  
学校評価アンケートの観点・項目の確認、評価実施時期の検討
  - 第3回 令和5年3月 内部委員1名、協議委員1名  
新型コロナウイルス感染症対策のため中止

### 3 学校に関するアンケート調査

昨年度に続き Classi でのアンケート実施とした。教職員の学校評価アンケート回収率は 100%であった。生徒全体の回収率は 93%、保護者の全体回収率は 90%であった。

#### ① 生徒の志望理由

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
第1位	校風・歴史	20%	学校の評判	16.6%	進学実績	40%
第2位	学校の評判	19.3%	進学実績	15.8%	校風・歴史	37%
第3位	進学実績	18.6%	校風・歴史	15.6%	学校の評判	36%
第4位	在校生の姿	11.1%	学校行事	9.8%	在校生の姿	27%
第4位	学校行事	10.3%	交通の便	9.8%	学校行事	27%

#### ② 生徒の満足している点

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
第1位	在校生の姿	18.5%	交友関係	20.7%	在校生の姿	35%
第2位	校風・歴史	16.2%	部活動	13.6%	校風・歴史	34%
第3位	学校行事	15.7%	校風・歴史	11.4%	部活動	33%
第4位	部活動	14%	学習指導	9.9%	学校行事	29%
第5位	学校の評判	11.3%	学校の評判	9.7%	学習指導	27%

#### ③ 生徒の不満を感じている点

	令和4年度		令和3年度		令和2年度	
第1位	施設・設備	43.7%	施設・設備	29.3%	施設・設備	44%
第2位	学習指導	17.6%	交通の便	18.8%	交通の便	27%
第3位	学校行事	14.5%	学校行事	16.5%	学校行事	14%
第4位	部活動	6.7%	学習指導	11.8%	学習指導	13%
第5位	校風・歴史	3.9%	教育課程	11.4%	教育課程	10%

#### ④ 学校への期待

回答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「入学前にもっていた期待はかなえられている」と回答した生徒	79.5%	69.6%	76%

#### ⑤ 学習指導

回答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「授業の基礎的・基本的な内容は理解できる」と回答した生徒	82.5%	76.2%	83%
「教科指導の工夫・改善により基礎的・基本的な事項の徹底が図られている」と回答した教職員	95%	60.0%	89%
「授業の質が高く、知的好奇心・向上心が刺激される」と回答した生徒	75.5%	74.6%	69%
「自主的・意欲的に学ぶ態度を増進し、自ら課題を発見し、解決する能力の育成が図られている」と回答した教職員	93%	61.4%	89%
「自分の進路に必要な内容を適切に教えてくれる」と回答した生徒	92.6%	80.7%	86%
「進路希望の実現に結びつく学習指導を行っている」と回答した保護者	85.1%	62.7%	70%
「授業に積極的に取り組んでいる」と回答した生徒	79.6%	73.4%	83%

## ⑥ 読書活動

回 答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した生徒	54.4%	60.8%	58%
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した保護者	55%	39.5%	46%
「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすように努めている」と回答した教職員	65.8%	49.3%	52%

## ⑦ 特別活動

回 答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「学校行事に意欲的に取り組んでいる」と回答した生徒	91.4%	74.1%	81%
「学校行事は、活発である」と回答した保護者	65%	48.6%	61%
「竹早祭や体育祭など、学校行事の完成度を高める指導を行っている」と回答した教職員	78.9%	44.0%	61%
「部活動に積極的に取り組んでいる」と回答した生徒	84.5%	75.7%	83%
「部活動は、活発である」と回答した保護者	81.1%	45.2%	49%
「部活動の活性化を支援し、生徒一人一人が楽しく学校生活を送ることができるように配慮している」と回答した教職員	84.2%	52.0%	78%

## ⑧ 生活指導

回 答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「本校の生活指導は、生徒の学校生活を支援するものになっている」と回答した生徒	87.8%	76.6%	47%
「本校では、行き届いた生活指導を行っている」と回答した保護者	87%	45.2%	71%
「時間を守る、身だしなみを整えるなど自律的な生活態度の確立が図られている」と回答した教職員	84.2%	49.3%	92%
「先生は、生徒の意見や悩みをよく聞き、適切に対応している」と回答した生徒	88.1%	68.1%	47%
「本校では、生徒の抱える様々な悩みに答えられる適切な指導が行われている」と回答した保護者	74.2%	43.9%	61%
「生徒の心と体の健康な発達を促し、安全で清潔な学習環境の整備に努めている」と回答した教職員	94.7%	56.7%	93%

## ⑨ 進路指導

回 答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「本校は、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など適切な進路指導を行っている」と回答した生徒	91.8%	71.6%	85%
「本校では、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など、適切な進路指導を行っている」と回答した保護者	85.4%	55.7%	66%
「進路情報の活用や進路室の利用、進路相談機能の充実が図られている」と回答した教職員	94.7%	56.0%	80%
「進路室は利用しやすい」と回答した生徒	56.2%	62.5%	47%

## ⑩ 健康・安全、施設・設備、その他

回 答	令和4年度	令和3年度	令和2年度
「本校は、人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじるよう自覚を促している」と回答した生徒	86.9%	68.2%	80%
「本校は、すべての教育活動において人権尊重の精神を育てる指導を行っている」と回答した保護者	88.8%	54.3%	74%
「すべての教育活動を通して、生徒に人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじる社会の一員としての自覚を促している」と回答した教職員	92.1%	54.7%	93%
「1年前と比べて、学校の活動におけるICTの活用は進んだと思う。」と回答した生徒	73.4%		
「1年前と比べて、学校の活動におけるICTの活用は進んだと思う。」と回答した保護者	66%		
「1年前と比べて、学校の活動におけるICTの活用は進んだと思う。」と回答した教職員	89.2%		
「ホームページやClassi等による学校からの情報提供は十分だと思う。」と回答した生徒	81%		
「ホームページやClassi等による学校からの情報提供は十分だと思う。」と回答した保護者	90.9%		

「ホームページや Classi 等による学校からの情報提供は十分だと思う。」と回答した教職員	84.2%		
「本校は、避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した生徒	70.2%	64.2%	73%
「本校では、避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した保護者	70.4%	38.1%	63%
「本校の施設は、生徒が授業や生活がしやすいように整備されている」と回答した生徒	61.3%	70.5%	54%
「本校の施設は、よく整備されている」と回答した保護者	49.1%	37.0%	41%
「本校の電話（窓口）対応は、よい」と回答した保護者	92.5%	43.2%	76%
「窓口対応と実務能力のスピードアップが図られている」と回答した教職員	84.2%	50.6%	72%
「本校は、生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した保護者	86.5%	56.8%	71%
「生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した教職員	81.6%	56.0%	95%
「本校は、体罰根絶に向けて取り組んでいる」と回答した保護者	90%	45.5%	74%
「本校は、いじめの未然防止、いじめの実態把握及びいじめに対する措置等、いじめに対する取組を適切に行っている」と回答した保護者	86.8%	41.3%	71%
「本校は、いじめの未然防止や早期発見、発見した際の対応等、いじめに対する取組を適切に行っている」と回答した教職員	94.7%		
「国や都は、働き方改革に取り組んでいると思う。」と回答した保護者	55.8%		
「国や都は、働き方改革に取り組んでいると思う。」と回答した教職員	26.3%		
「子どもを竹早高校に入れてよかった」と回答した保護者	95.3%	73.5%	80%

### (3) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）

#### ① 生徒の志望理由

今年度も、「校風・歴史」「学校の評判」「進学実績」の3項目が志望理由の上位となった。伝統ある「校風・歴史」を尊重し、進学指導推進校としての使命を果たしていく必要がある。

#### ② 満足している点

今年度は、「在校生の姿」「校風・歴史」「学校行事」「部活動」が上位となった。コロナ禍3年目を迎え、少しずつ活動制限が緩和されてきた。3年ぶりに駒沢公園競技場で体育祭が実施できたことなども生徒の満足感につながったと考えられる。

#### ③ 不満を感じている点

例年「施設・設備」への不満は1位であるが、昨年度の29.3%から43.7%にまで大きく上昇した。今年度の夏は、空調設備の不調で冷房が効かないなどの設備面でのトラブルがあり、冷水クーラーなどのレンタル等、学校として可能な限りの対策を取ったが、生徒に快適な学習環境を保証することはできなかった。しかし、ようやく大規模空調工事が決まり、令和4年12月から空調工事を実施している。令和6年9月まで空調工事が続く予定である。

#### ④ 入学前の期待の実現

肯定的評価が昨年度の69.6%から79.5%に上昇し、令和2年度の76%よりも上回った。教育活動を一層充実させ、生徒に確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒が主体的に自己実現を図れるよう指導していく必要がある。

#### ⑤ 学習指導

項目別にみると、「授業の基礎的・基本的な内容は理解できる」は、昨年度の76.2%から82.5%と上昇した。また、「授業の質が高く、知的好奇心・向上心が刺激される」は、昨年度の74.4%から75.5%に微増し、「授業に積極的に取り組んだ」は、昨年度の73.4%から79.6%に上昇した。生

徒の学習意欲が向上していると考えられる。また、「自分の進路に必要な内容を適切に教えてくれる」は、昨年度の80.7%から92.6%まで大きく上昇した。今後も、教員が組織的・継続的に指導方法等を工夫し、生徒の進路に必要な内容を適切に教えていくことで、生徒の進路実現へとつなげていく必要がある。

#### ⑥ 読書活動

「生徒が本や電子書籍に触れ、読書する機会を増やすようにしている」と回答した保護者は、昨年度の39.5%から55%に上昇し、教職員の回答も昨年度の49.3%から65.8%に上昇しているが、生徒の回答は、昨年度の60.8%から54.4%に少し下がった。今後も、学校図書館・図書委員会のビブリオバトルをはじめとした読書活動を推進していく必要がある。

#### ⑦ 特別活動

「学校行事に意欲的に取り組んでいる」と回答した生徒は、昨年度の74.1%から91.4%へと大きく上昇し、保護者の回答も昨年度の48.6%から65%へと大きく上昇した。「部活動に意欲的に取り組んでいる」と回答した生徒も昨年度の75.7%から84.5%へと上昇し、「部活動は活発である」と回答した保護者は、昨年度の45.2%から81.1%へと大きく上昇した。また、「学校行事の完成度を高める指導を行っている」と回答した教職員は昨年度の44%から78.9%へと大きく上昇し、「部活動の活性化を支援し、生徒一人一人が楽しく学校生活を送ることができるように配慮している」と回答した教員も昨年度の52%から84.2%へと大きく上昇した。3年ぶりの駒沢公園競技場での体育祭や竹早祭でのアリーナ劇、合唱コンクールなどが実施できたことが生徒にも保護者にも良い影響を与えたと考えられる。今後も生徒の自主性を尊重しながら、学校全体で学校行事や部活動の活性化に取り組んでいく必要がある。

#### ⑧ 生活指導

「本校の生活指導は、生徒の学校生活を支援するものになっている」と回答した生徒は、昨年度の76.6%から87.8%へと上昇し、「本校では、行き届いた生活指導を行っている」と回答した保護者においては、昨年度の45.2%から87%へと大きく上昇した。また、「先生は、生徒の意見や悩みをよく聞き、適切に対応している」と回答した生徒も、昨年度の45.2%から87%へと大きく上昇し、「本校では、生徒の抱える様々な悩みに答えられる適切な指導が行われている」と回答した保護者も、昨年度の43.9%から84.2%へと大きく上昇した。教職員においても、「生徒の心と体の健康な発達を促し、安全で清潔な学習環境の整備に努めている」と回答した教職員は、昨年度の56.7%から94.7%へと大きく上昇した。本校の教育目標である「自主自律」の態度の育成のため、今後も多くの活動で、生徒自身が考え、自分自身が立てた規律に従って行動することを大切に指導していく必要がある。

#### ⑨ 進路指導

「本校は、生徒の進路希望に対応した進路情報の収集や提供など適切な進学指導を行っている。」と回答した生徒は、昨年度の71.6%から91.8%へと大きく上昇し、保護者においても、昨年度の55.7%から85.4%へと大きく上昇したが、「進路室は利用しやすい」と回答した生徒は、昨年度の62.5%から56.2%へと少し減少した。また、「進路情報の活用や進路室の利用、進路相談機能の充実が図られている」と回答した教職員においても、昨年度の56%から94.7%へと大きく上昇した。進路室の利用を推進し、今後も生徒への進路情報などを適切に提供し、生徒の進路希望に対応した

進路指導の充実を図る必要がある。

#### ⑩ 健康・安全、施設・設備、その他

「本校は、人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじるよう自覚を促している」と回答した生徒は、昨年度の68.2%から86.9%へと大きく上昇し、「本校は、人権尊重の精神を育てる指導を行っている」と回答した保護者も、昨年度の54.3%から88.8%へと大きく上昇した。教職員においても、「生徒に人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじる社会の一員としての自覚を促している」と回答した教職員は、昨年度の56%から94.7%へと大きく上昇した。今後も人権尊重の理念を理解させ、自他の権利と責任を重んじる社会の一員としての自覚を促す指導をしていく必要がある。

「避難訓練や講話など防災や安全に関する指導を積極的に進めている」と回答した生徒は昨年度の64.2%から70.2%へと上昇し、保護者においては、昨年度の38.1%から70.4%まで大きく上昇した。今後とも、災害に備えて防災や安全に関する指導を強化し、いざというときに生徒が自他の生命の安全を守れるように、地域や関係機関と連携をさらに強化した防災訓練を実施していく必要がある。

「本校の電話(窓口)対応は、よい」と回答した保護者は、昨年度の43.2%から92.5%へと大きく上昇した。また、「生徒や保護者の要望に対して迅速に対応している」と回答した保護者も、昨年度の56.8%から86.5%へと大きく上昇した。今後とも、丁寧な窓口対応を徹底し、生徒や保護者の要望に対しても迅速に対応していく必要がある。

「体罰根絶に向けて取り組んでいる」と回答した保護者は、昨年度の45.5%から90%へと大きく上昇した。いじめの未然防止の取組についても、保護者は昨年度の41.3%から86.8%へと大きく上昇した。今後も、校内でのいじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、体罰根絶に向けてもより一層取り組んでいく必要がある。

「1年前と比べて、学校の活動におけるICTの活用は進んだと思う」と回答した生徒は73.4%、保護者は66%、教職員は89.2%であった。また、「ホームページやClassi等による学校からの情報提供は十分だと思う」と回答した生徒は81%、保護者は90.9%、教職員は84.2%であり満足度は高い。今後もClassi等を活用し、生徒や保護者等へ情報提供を行っていく必要がある。

「国や都は、働き方改革に取り組んでいると思う」と回答した保護者は55.8%、教職員は26.3%であった。より一層、学校での働き方改革に取り組む必要がある。

「子どもを竹早高校に入れてよかった」と回答した保護者は、昨年度の73.5%から95.3%へと上昇した。学校評価アンケートでの生徒や保護者、教職員の意見を参考に、より一層、本校の教育活動を充実させていく必要がある。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

### (1) 学校連絡協議会を実施して得られた成果

- ア 学校評価アンケートの分析が正確かつ詳細に行われており、学校を客観的に評価することが可能となっている。
- イ 活動制限が少しずつ緩和され、例年以上に、生徒たちは部活動や学校行事に積極的に取り組んだことが分かった。

ウ 生徒、保護者、教職員が、人権尊重の理念を理解して学校の教育活動に取り組んでいることが分かった。

エ Classi 等による学校からの情報提供への満足度が高いことがわかった。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

ア 「入学前にもっていた期待はかなえられている」と回答した生徒は 79.5%であり、「子どもを竹早高校に入れてよかった」と回答した保護者は 95.3%であり、本校への満足度は高い。より一層、本校の教育活動を充実させていく必要がある。

イ 引き続き、学校ホームページや Classi をはじめとする各種通信、または保護者会や父母と教師の会の会合などを通じて、より一層、丁寧に学校の取組みを発信していく必要がある。

ウ 今年度もコロナ禍による活動制限は徐々に緩和されてきたが、次年度以降は活動制限がなくなる可能性が高い。コロナ禍で培われてきた経験を活かして、より一層、学習指導、部活動・学校行事、進路指導にバランスよく取り組む必要がある。

エ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底するなかで、オンライン教育の推進などの学校改革が推進され、教職員の ICT 活用技術も向上してきたが、今後も ICT 等に関する研修などを積極的に行い、教職員のさらなる ICT 活用技術の向上に取り組む必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善（学校経営計画への反映）

(1) 学校運営

ア 学校経営計画の具現化のための組織的な学校運営を行う。

イ 生徒の希望進路実現のため、進路・探究部を中心としたキャリア教育をさらに推進する。

ウ 教育活動の保護者への確実な伝達や相互理解の充実に努める。

エ ホームページの充実・最新情報への更新、教職員全体による広報活動を充実させる。

(2) 学習指導

ア 教科を中心に日常的な情報交換（O J T）や相互の授業観察の実施等授業研究を行い、ICT 活用技術の向上などもふくめ、個々の教員の力量を高めていく。

イ 自習室の活用や講習会の適切な実施等により、自学自習の態度・習慣を身に付けさせるとともに、対話的で深い学びのための方策について一層の工夫をする必要がある。

ウ 学校図書館や図書委員会のビブリオバトルをはじめとした読書活動を推進し、引き続き生徒の未読率減少に努める。

(3) 特別活動

ア 学校行事について、生徒の自主性を尊重しながらも、完成度が高まるように教職員が指導する。

イ 部活動について、生徒の自主性を尊重しながらも、成果をあげられるように教職員が支援する。

(4) 生活指導

ア 生徒に、教員の支援の意図を正しく理解させる指導を継続する。

イ 「生徒に考えさせる指導」、「時間を守る」、「身だしなみを整える」、「あいさつをする」等の意識・姿勢の育成とともに、帰属意識を育てる生活指導を継続する。

(5) 進路指導

ア 進学指導推進校として、生徒の進路希望を高いレベルで実現できるような支援を継続する。

- イ 低学年から進路指導室を利用する機会を拡大するよう進路指導を工夫する。
- ウ 保護者へ進路情報などを適切に提供し、生徒の進路希望に対応した進路指導を継続する。
- エ 保護者との面談の機会を設けて、情報交換を行い、生徒の自己実現を図る。

(6) 健康・安全

- ア 生徒の心身の健康を保持・促進するために、教育相談活動を充実させる。スクールカウンセラーを有効活用するため、全員面談の充実や教育相談の周知方法を工夫する。
- イ 生徒の生命の安全確保に向け、共助の視点も取り入れた効果的な防災訓練を実施する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8名

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
4	2				2

職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果 なし